

安来市体育協会だより

第 3 号

平成 25 年 4 月 1 日発行

おめでとうございます

平成24年度安来市体育協会総会において次の皆様が表彰されました。

現在安来市体育協会には、競技部22団体・地域振興

部17団体が加盟し、また、スポーツ少年団には40チームの単位団が登録しており、それぞれ積極的に日々の活動・指導・育成等に務めているところであります。

本会では、地域スポーツの普及または競技力の向上等で本市スポーツの発展に大きく貢献された個人または団体を表彰しています。

今回の受賞者は、地域スポーツの普及および競技力の向上に貢献された皆様方でございます。

今回の表彰を機会に、さらに本市スポーツの発展にご尽力を賜りますようお願いいたします。



金山喜次夫 様

安来市グラウンド・ゴルフ協会の理事長に就任以来、2級指導員として積極的に普及活動に務め、当時300名弱の会員を700名まで増やすなど、新しいスポーツの発展・育成に尽力されています。

伊藤光枝 様

安来市フォークダンス連盟前身「しまね社会保険センター安来地区フォークダンスどじょっこ」の会長を務め、連盟の立上げ後は初代会長として積極的なリーダーシップを発揮され、発展・活動に尽力されています。

石原章弘 様

19年間広瀬チームの駅伝監督として指揮を取り、その間2回の入賞を果たした。また、広瀬陸上クラブの指導者として小学生を中心に指導育成を行い、競技力の向上、底辺の拡大に尽力されています。

長島徳幸 様

平成23年度北東北インターハイで団体優勝の中心選手として活躍し、また、個人フルーレの部では予選トーナメント3回戦を全勝で勝ち上がり、決勝トーナメント2回戦ではインターハイ史上記憶にない死闘をくり広げたが惜しくも4位入賞を果たした。

安来高等学校男子フェンシング部 様

安来高等学校フェンシング部に28年ぶり2度目の全国優勝の栄冠を勝ち取った。地域にも明るい話題を提供し、日々努力することの大切さとチーム一丸となって目標に向かうことの重要性をアピールした。

平成24年度活動報告

安来市剣道連盟

事務局 井上 健

安来市剣道連盟は現在登録会員数55名。安来、荒島、南、広瀬、伯太、比田の各地区、および学校、日立金属㈱の職域にて、子供たちへの指導を中心に剣道の普及振興を目的とした活動を行っています。主な行事としては、段級審査会、各種大会、講習会等が挙げられますが、このうち8月に開催される安来市剣道大会は、今年度で45回目の開催となった伝統ある大会で、6歳から67歳までの130名がそれぞれのレベルに応じた熱戦を繰り広げました。

また、安来市、警察署、教育委員会の後援を受けて12月に開催されるどじょっこカップ剣道大会は、県内外から広く参加を募る小学生の大会で、今年度は過去最多の25団体、総勢240名の参加をいただきました。この大会は日頃対戦することのない相手から刺激を受けると同時に、広く交流をはかれる貴重な大会として定着し、参加者も年々増加しています。

私たちは今後も剣道活動を通じて健全な青少年育成に努めてまいります。引き続き安来市剣道連盟へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

安来剣道スポーツ少年団

江戸 宣文

今年度は、小中学生合わせて48名の団員で活動しています。春の県予選を勝ち上がり、小学生団体で全日本少年剣道錬成大会、小・中・高校生から指導者までが5人でチームを組む、都道府県道

場対抗優勝大会等の全国大会に出場しました。

また、団長の江戸彰吾が島根県代表チームに選抜され、都道府県対抗少年剣道優勝大会にも出場しています。県大会では団体優勝することはできませんでしたが、準優勝3回という成績を残しました。12月に本団が運営に加わったどじょこカップでは、38チーム参加の中4年ぶりの優勝を果たすことができました。

普段の稽古では勝つ事ばかりではなく、剣道の理念である人間形成の道をめざして稽古をしています。まず、全員で姿勢を正して大きな声で論語を素読してから稽古をはじめています。小中学生一緒に稽古をするため年齢に開きはありますが、保護者を中心とする後援会の献身的な支えの中で、お互いを敬い、思いやりの気持ちをもって稽古することをめざしています。

伯太剣道教室

伯太剣道教室は、「大きくしっかり強く打突する」という基本に忠実な剣道を学んでいます。

昨年新たに1名の生徒を迎え計6名の少年剣士が、吉木先生、内田先生、高橋先生のご指導のもと日々稽古に励み心身ともに鍛えられ成果をだしています。

また、4名の中学生剣士も更なる向上を目指して技を磨いています。

以前は木曜日だけの稽古でしたが、生徒から「もっと強くなりたい。」との声があがり、日曜日にも稽古を行うようになりました。その強い闘志を見せた剣士たちはもう高校生。たまに姿を見せて生徒たちの指導をしてくれます。現在通っている生徒たちにはそんな歴史があったなんて知る由もありませんが、その勇姿は良い刺激になっているようです。この子たちも数年後には同じ勇姿を見せてくれるかもしれません。

昨年度から、南剣道スポーツ少年団との合同稽古を月2回行い、母里小学校の体育館に大きな声と竹刀の重なる音を響かせています。今後も設立当初から変わることのない剣道を学び、「まんなかまっすぐ！」に躍進していきたいと思えます。

子供たちの可能性にエールを

広瀬町フェンシング協会 理事長 太田 清美

昨年度は、全国高校総体での安来高等学校男子フェンシング部の全国制覇の話題に心ときめいた一年でありましたが、本年度は、その生徒たちが大学に進学する中、一層嬉しい知らせがありました。願ってもなかなか叶わない世界大会への出場というビッグニュースでした。

世界大会の切符を手にしたのは、20歳以下の部で県内4選手、内3選手が安来高校出身者でした。県内で過去に年間4人も世界大会への派遣を行ったのは今回が初めてでした。「大きく成長したものだ。」と、協会員一同、選手たちに感謝の気持ちでいっぱいでした。

「頑張ればきっと叶う。」そんなエールを後に続く子供たちに送ってくれたことに。

また、世界大会に出場した市内3選手の内、2選手が2回も世界に羽ばたき、その中の一人は第3位の栄冠を手に戻りました。

これは、一朝一夕に叶うものではなく、日々の精進とたゆまぬ努力、そして、教えを頂いた指導者の方々のご協力があって実を結ぶものですが、必ず、明日に繋がる足掛かりとなります。希望を胸に、これからも高く世界に羽ばたいて欲しいものです。

「グラウンド・ゴルフ大会」に思うこと

グラウンド・ゴルフ 競技部 福田 晋也

私達グラウンド・ゴルフ部は、毎年3月から11月の月上旬まで活動しています。2月末日までには、事前に役員総会を開催して、年間の事業計画等を話し合い、大会の運営がスムーズに実施できるように心掛けています。

「グラウンド・ゴルフ大会」の一か月前になると、開催要項を作成し、役員を通じてみなさんに配布してから、参加の申し込みの受付をいたします。大会当日の参加選手(約300名前後)組み合わせ表を作成、印刷にかけるなど、かなり「ハードスケジュール」な事務を行います。大会当日、元気で参加される選手の皆さんの楽しそうな笑顔を見ると、役員としてもやりがいのある仕事です。

本年度の大会の成績では、特に、女性の選手の健闘が目立っています。近隣地区での大会、また、「いずもドーム」での大会に積極的に参加されていることが、成績の向上につながっているものと思われま。

グラウンド・ゴルフは、「ルールも簡単で、年齢にも関係なく、誰でも気軽にできる身近なスポーツ」として、全国各地でも盛んに行われています。皆さん方の参加をお待ちしています。

太極拳協会便り

安来市太極拳協会

安来市太極拳協会の今年一番のイベントは、9月2日(日)に山陰地区気功太極拳表演交流大会が、安来市民体育館で開催された事です。

今大会は、安来市太極拳協会の10周年記念でも

あり、全員一丸となって協力し取り組みました。山陰各地から約400名が一堂に集まり、楽しく盛大に表演大会がとりおこなわれました。

さて、「やすぎ教室どじょっこチーム」7名が10月に仙台市で開催された「ねんりんピック全国大会」に出場したのも喜ばしいことでした。これは5月に松江市で開催された「島根県健康福祉祭」太極拳大会に於いて優勝し、島根県代表に選ばれたものです。

当協会では、現在7教室「やすぎ（木・夜）、社日（土・午前）、広瀬（水・夜）、広瀬（金・午前）、伯太（月・夜）、荒島（木・午前）、なごやか（金・午後）」と、研究会（金・夜）が1つあります。107名の会員が週1回ですが、各教室で友好をはかり楽しく自らの健康維持に努めています。

関心ある方の見学、入会大歓迎です。お待ちしております。

未来の自分のためのスポーツ

安来市バドミントン協会 富田 益司

世界中には色々なスポーツがある。その中で自分に合ったスポーツと巡り会えたら、楽しくておもしろい友達をもったのと同じくらい楽しい人生になることは間違いない。

どんなスポーツでも強くなるには、皆さん知っでの通り心身を鍛えることです。さらにそのスポーツについて知るといことも大切だと思う。特に初心者は自分の知らない技、動きなどを指導者から教えられるだけでなく、自ら学んで知ることが必要だ。

次に人を見て学ぶことも必要で、上手な人の技、動きを真似てみる。これも強くなるための一つの方法だが、始めからうまくゆくはずはない。カッコウが悪くても続けてゆけばスポーツに限らず、どんなことでも必ず形になってくるものではないでしょうか。そして練習の中での失敗から、試合の中での失敗と負けから、多くを学ぶことが自分を成長させる。そして自分の好きなスポーツに強くなるだけでなく、書物から、人から、試合から、失敗から学んだことが、自分の未来に役立つはずで

ゲートボール大会

ゲートボール部

安来市体協主催大会は、春、秋、女子大会とあります。春の大会では島根県選手権大会出場権をめざし、又、女子大会も島根県女子選手権大会出場権をめざします。平成24年度岡山会場中国大会

へ県代表として3チーム参加いたしました。

高齢化でしずみがちな心に活力を与えます。そば食い大会等各地スポンサーの協力であり、横田新そば等おいしくいただきました。頭の運動、体力もやさしく万歩計で一万歩以上になり、次のステップ、親睦交流とつながります。

平成27年頃国体競技として参加します。チームワークプレイですので、互いの信頼関係が重要、うちとけて話も進みます。

楽しい競技ですので新会員になられることお願い申し上げます。



最近のペタンクに思う

ペタンク部 百田 哲夫

ペタンクの試合は、主にトリプルスで行う。3名が相談してそれぞれの役割分担を果たさなくては、勝てないと習ったのは十数年前ですが、最近の試合の内容はかなり変化しています。熱心などころでは国際試合を目指して本場のフランスのように、コートに砂利を敷詰めたテラン（ペタンクをする場所）を作り上げています。（サントピア岡山総社ペタンク場）砂利のテランでは、球が転ばないので、従来の投げ方では通用しません。

去る9月、松江北公園で行われた中国ブロック大会の決勝戦でのこと…全国レベルの腕を揃える松江のチームが、岡山の若いチームに、13対1で惨敗した。朝から雨が降り水溜りのテランであったが、若いチームは、相手の球を跳ね飛ばして、自分の球は標的の傍らに残る…すばらしい投球を見せ付けた。

7年程前、安来市西部球場で県のオープン大会があり、その時、岡山日新高校のペタンク部の生徒が2チーム、教員チーム1チームの参加がありました。その時は安来のチームと同程度でしたが、最近の岡山はペタンクが盛んです。最近のスポーツはいずれも国際化が進み、身体から作らないと対応できなくなって来た様に思われます。

日本ペタンク協会は、NPO法人から、公益法人に移行しましたが、幅広く活動する為と思われま

私共、老人会系の協会は、会員相互の親睦と健康維持向上の看板を掲げながら、若手の育成にも最大限の努力を惜しまないつもりです。

平成24年度事業

安来市十神地区体育協会 事務局

- 5月13日 第21回ベタンク大会
- 6月17日 第26回グラウンドゴルフ大会
- 9月9日 第6回ウォーキング大会
- 9月23日 第6回ソフトボール大会
- 10月14日 第22回十神地区体育大会
- 10月22日 第27回グラウンドゴルフ大会
- 11月25日 第16回ソフトバレーボール大会

地区の皆様のご尽力とご協力で、今年度の事業を計画通り行うことが出来ました。しかし、参加しやすい競技等、新たな事を考えるという点では、不足の感が残りました。

体育大会では防災気運の高まりから、防災訓練リレーを立案し行いましたが、初めてのことで、考慮不足はありましたものの、改良すれば面白い競技になるとの実感も得ることが出来ました。

ともあれ、健康作り、体力作りのために、より多くの人々が楽しく集えるスポーツの場を作るように努力してまいりますので、今後とも皆様の協力をお願い致します。

強豪に勝利!!

8月7日から10日の4日間、全国から49チームが神奈川県川崎市に集結し、全国大会が行われました。連日30度を超える暑さの中、4つの会場で熱戦が繰り広げられました。



予選1日目	
安来 2	$\begin{matrix} 21-18 \\ 21-16 \end{matrix}$ 0 吉野 (山形)
安来 0	$\begin{matrix} 23-25 \\ 15-21 \end{matrix}$ 2 紀の国 (和歌山)

山形県代表、吉野スポ少との対戦では全国大会の第一試合ということもあり、若干緊張した表情で試合が始まりました。なんとか緊張しながらも勝つことができました。次の試合はグループ1位を目指し、和歌山県代表、紀の国VBCとの対戦です。一進一退の戦いとなり、粘り強く拾ってつないで戦いましたが、あと一步およびませんでした。試合後、子ども達は、明日「2勝してベスト16」に入ると意気込んでいました。



3年連続の経験からなのか、子ども達の前向きな姿勢に喜びを感じた一瞬でした。

予選2日目

安来 2	$\begin{matrix} 21-15 \\ 21-18 \end{matrix}$ 0 山口 (山口)
安来 0	$\begin{matrix} 18-21 \\ 18-21 \end{matrix}$ 2 高砂 (宮城)

2日目の試合は、中国地区の強豪チーム“山口JVC”でした。1セット目は、リードしながら先行した展開となり、セットをとりました。2セット目は逆にリードを許す展開で、苦しいゲームとなりましたが、終盤で逆転し強豪山口から勝利をつかむことができました。ベンチも応援団も大喜びで、いままでの試合の中で一番の試合だったように思います。次、ベスト16のかかった2試合目は宮城県代表、高砂BVでしたが、相手のエースのスパイクに対応できず、負けてしまいました。

結局、3チーム1勝1負となり、得失1点差で山口JVCがベスト16になり、次の試合も勝ちベスト8になったのでした…。

3年連続の出場となり、結果を求められるプレッシャーもあったと思いますが、目標に向かって頑張った子ども達を褒めてやりたいと思います。



ありがとうございました

この度、第32回「全日本バレーボール小学生大会」出場に際しましては、温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。大会では、選手ベンチ、応援席と三位一体となり戦ってまいりました。

部員一同、この度の貴重な経験を活かし、今後一層の精進を重ねていくものと信じております。

皆様からお寄せいただきましたご厚情に感謝いたしますとともに、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます、略儀ながら書中をもちましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

安来レイダース 監督 池田良則

保護者会長 加藤 保 保護者一同

あ と が き

昨年4月に、松本友和氏からバトンタッチし、新しく事務局を担当することになりました石丸秀一です。よろしくお願いたします。

初めに、「安来市体育協会だより」第3号の発行が、新しい年度にはいりましたことを深くお詫び申し上げます。

この1年間各部の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。一日一日が新しい出来事の出会いで、事業の流れをつかむのが精一杯の状況でありました。この1年間を反省し、今後も皆様からのご意見・ご要望を伺いながら体育協会の事業を進めてまいりますので、今までと変わらぬご協力をお願いいたします。

〒692-0011 安来市安来町1337-1
安来市体育協会 (安来市民体育館内)
Tel 0854-23-1923 (兼ファックス)
E-mail: taikyou@yasugi-reserve.0ch.biz